

## 令和7年度 大池中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

### 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	63	47	36	6.6	12.6
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
	理科
学校	454
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査

＜国語＞ 全国と比較して、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の各領域で正答率が低い結果であった。

特に、言葉の特徴や使い方に関する事項の問題について、全国平均よりさらに10ポイント下回る結果となっており、言葉に関する知識や言葉の正しい使い方に課題がみられた。しかし、「読むこと」に関しては、全国平均より2ポイント下回りはしたものの、全国平均との差を昨年度より大きく改善する形となり、国語全体としても改善傾向がみられた。平均正答率も大阪市との差が昨年度9ポイントから5ポイントと縮まる結果となり、改善傾向となった。

＜数学＞ 全国と比較して、「数と式」「図形」の領域では正答率が10ポイント以上低い結果であった。

特に記述問題での正答率が低い傾向が見られた。出題を理解して説明や証明するなど筋道を立てて解答を導く力に大きな課題がみられる。しかし、無回答率、平均正答率ともに大阪市・全国との差がともに改善し、特に無回答率は昨年度より9ポイント改善し、粘り強く問題に向き合う姿勢が見られた。

＜理科＞ 全国と比較してIRTスコアが40ポイントほど低く、IRTバンド集計値でも5などの上位の割合が低い結果となった。記述式の問題で正答率が低い課題もみられたが、元素記号などの知識及び技能を問う分野で全国を上回る結果となった。

【今後に向けて】

生徒質問紙の結果では、家庭学習の時間は全国と比べて少なく、特に休日の家庭学習時間を確保する意識を高めるよう家庭での学習習慣の確立にむけ、家庭とも連携しながら取り組みを進めていくとともに、学力向上をめざし、ICT機器の活用や言語活動の深化充実を一層進めていく必要がある。

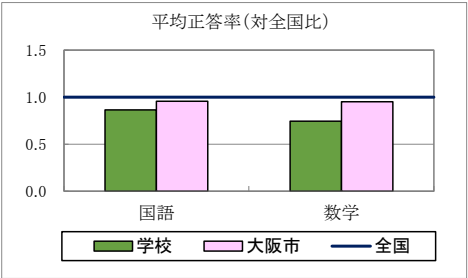
「自分にはよいところがあると思いますか」の問いに対して肯定的な回答が93.7%、「将来の夢や目標を持っていますか」の問いに対して肯定的回答が75%となり、自己肯定感が全国・大阪市の平均を超える結果となった。また「いじめはいけない」とする回答率は100%で、自分自身と相手を大切にする人権教育の取り組みや活動が成果として表れている。今後も、引き続き多文化共生教育を柱に人権教育を実践していく。

令和7年度 大池中学校のあゆみ  
 ―結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について―

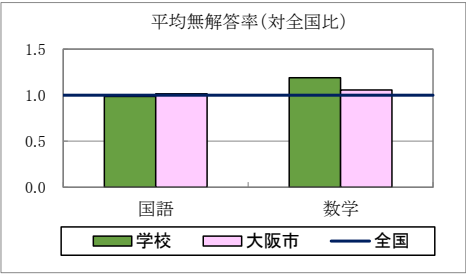
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	47	36
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

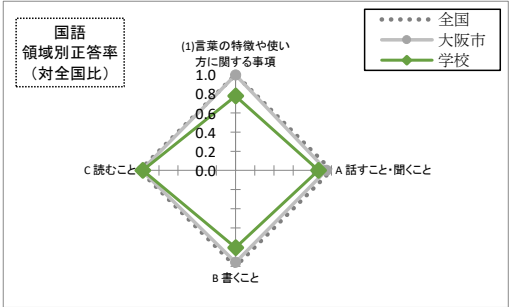
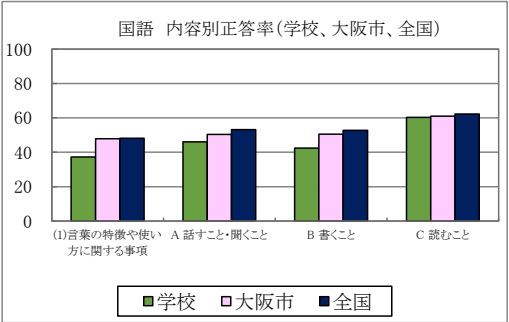


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	6.6	12.6
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



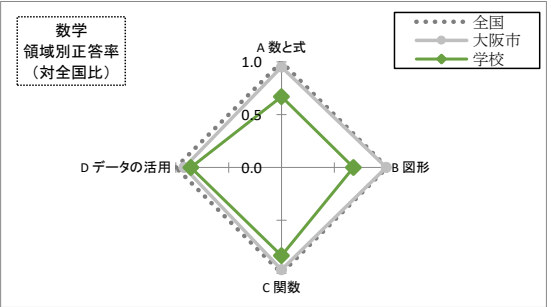
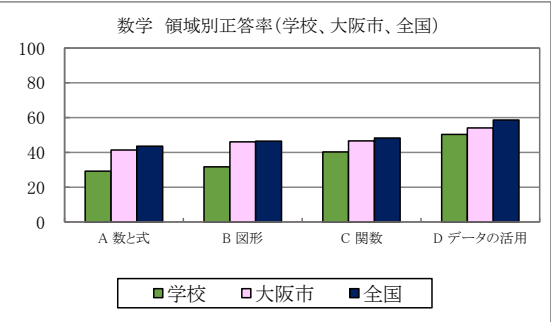
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	37.3	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	46.0	50.4	53.2
B 書くこと	5	42.5	50.6	52.8
C 読むこと	3	60.3	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	29.2	41.4	43.5
B 図形	4	31.7	46.1	46.5
C 関数	3	40.2	46.6	48.2
D データの活用	3	50.3	54.0	58.6

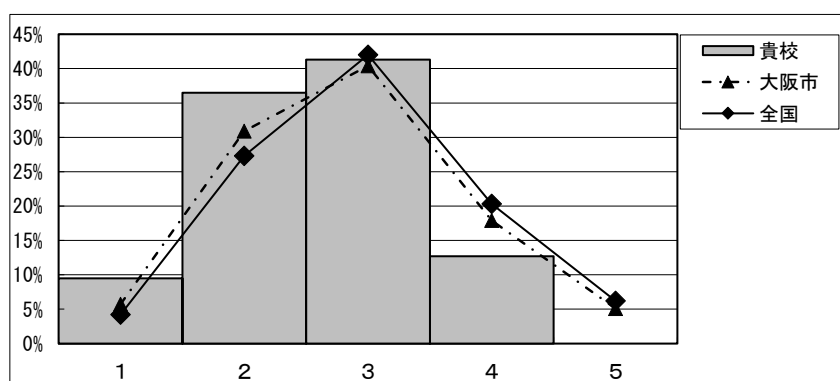
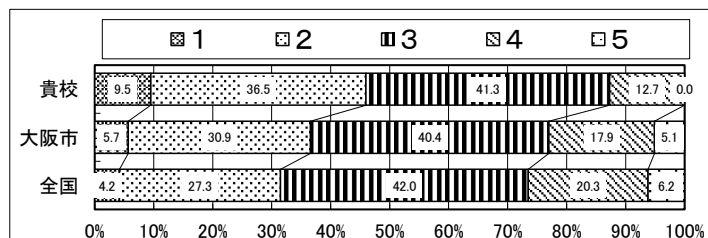


令和7年度 大池中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	454
大阪市	489
全国	503



# 令和7年度 大池中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

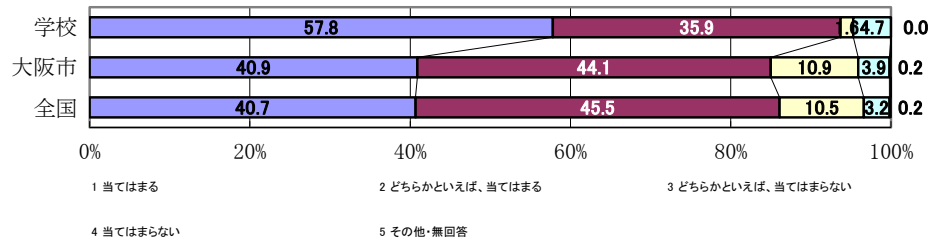
## 生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号  
質問事項

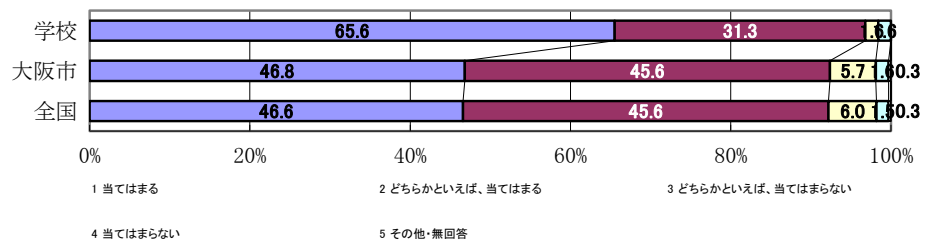
5

自分には、よいところがあると思いますか



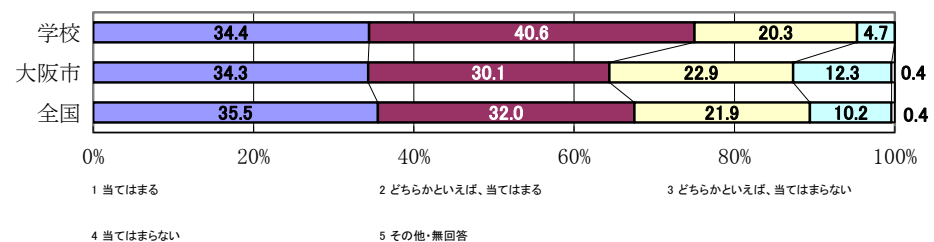
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



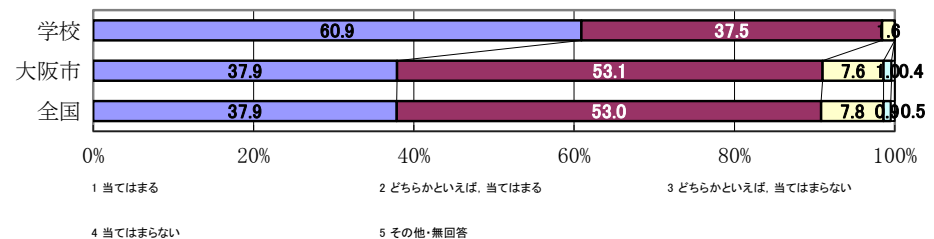
7

将来の夢や目標を持っていますか



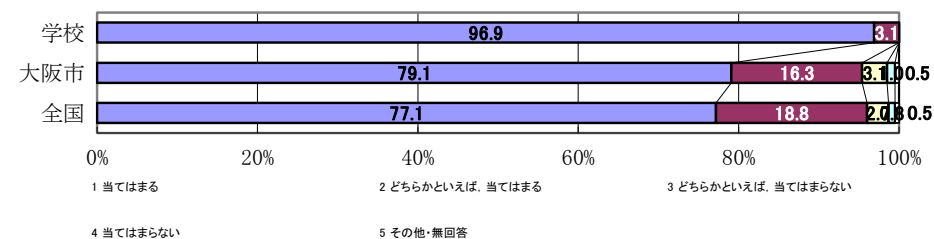
8

人が困っているときは、進んで助けられていますか



9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



# 令和7年度 大池中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

## 学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

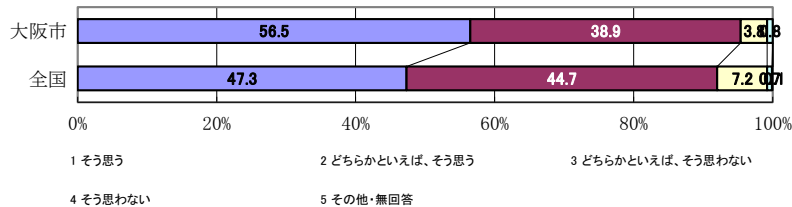
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

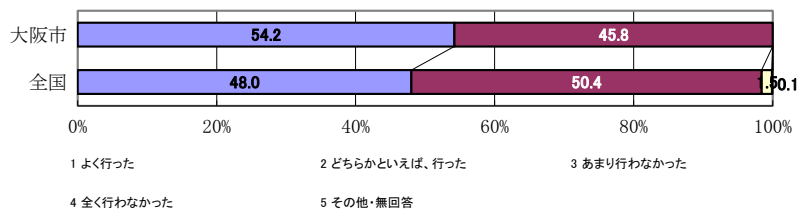
学校 「そう思う」を選択



9

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

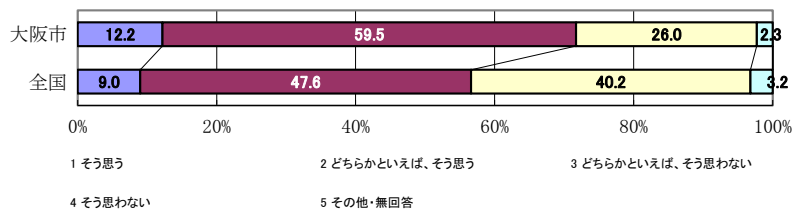
学校 「よく行った」を選択



29

調査対象学年の生徒は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか

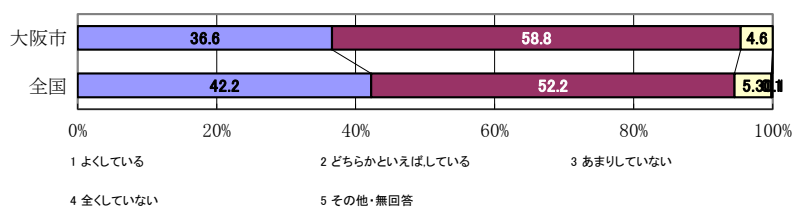
学校 「そう思う」を選択



14

教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか

学校 「よくしている」を選択



16

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

学校 「よくしている」を選択

